

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 8 月 10 日 (2006.8.10)

【公表番号】特表 2002-518354 (P2002-518354A)

【公表日】平成 14 年 6 月 25 日 (2002.6.25)

【出願番号】特願 2000-554568 (P2000-554568)

【国際特許分類】

C 0 7 K 14/705 (2006.01)

C 0 7 K 5/00 (2006.01)

C 0 7 K 7/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 14/705 Z N A

C 0 7 K 5/00

C 0 7 K 7/00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 14 日 (2006.6.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

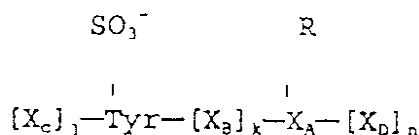
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 式：

【化 1】



(式中：

T y r はチロシン残基であり；

S O <sub>3</sub><sup>-</sup> はチロシン残基に結合した硫酸基であり；

X<sub>A</sub> は N - または O - 結合アミノ酸残基であり；

R は X<sub>A</sub> に O - または N - 結合しているシアル酸付加、フコース付加した N - アセチルラクトースアミノグリカンであり；

X<sub>B</sub>、X<sub>C</sub> および X<sub>D</sub> はアミノ酸残基であり；ならびに

j、k および n はおのの 0 から 12 であり、ここで各々のアミノ酸配列 [X<sub>B</sub>]<sub>j</sub>、[X<sub>C</sub>]<sub>k</sub> または [X<sub>D</sub>]<sub>n</sub> は 0 から 12 個のアミノ酸を有し、ただしこの化合物はアミノ酸 38 個以下である化合物、

を有する化合物。

【請求項 2】 X<sub>C</sub> が 1 または 2 個の硫酸チロシン残基を有してなる請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 3】 j = 0 から 10、k = 0 から 5 および n = 0 から 10 である請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 4】 R を R<sub>1</sub> から R<sub>15</sub> からなる群から選択する請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 5】 j = 0、k = 0 から 5 および n = 0 である請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 6】 X<sub>B</sub> がプロリンを含んでなる請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 7】  $X_C$  がチロシンを含んでなる請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 8】 図 10 の A から N の 1 個を含んでなる請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 9】 少なくとも 1 個のさらにシアル酸付加、フコース付加したアミノ酸残基に結合した O - グリカンを含んでなる請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 10】  $X_A$  が O - 結合アミノ酸である請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 11】 O - 結合アミノ酸残基がセリンまたはスレオニンである請求項 10 に記載の化合物。

【請求項 12】  $X_A$  が N - 結合アミノ酸である請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 13】 R が G A L N A c に対する 1 , 6 結合を含んでなる請求項 1 に記載の化合物。

【請求項 14】 R がコア - 2 をベースとしている請求項 1 に記載の化合物。